



「エコミーティングという 取り組み」

(株)加藤建設(愛知県) 加藤 徹社長

人々の生活と美しい自然との共生を実現するのは建設業しかない——。加藤建設(愛知県蟹江町)は2009年から環境配慮型の施工現場を目指し、社内で「エコミーティング」を始めた。中堅以下の若手を中心にアイデアを募り、総務、営業の職員を含め市民感覚も大切にした。

自然環境や生態系に配慮するには専門的な知識が欠かせない。「ビオトープ管理士」に着目し、全社で64人が資格を取得した。工事に影響を受ける生き

物を調査し、対策を発注者に働き掛ける。12年には愛知環境賞に応募。見事、銀賞を受賞し「方向性は間違っていない」と評価された。

課題は費用を自社で負担すること。現場に環境対策費が計上される仕組みができれば、業界全体が動き、取り組みの輪が広がる。環境技術部の石濱謙一課長代理＝写真＝は、「魅力ある建設業にするためにも、皆さんと一緒にエコミーティングを行っていきたい」と力を込めた。